京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター Center for Integrated Sensible Industry

V(0)

2011.4 APRIL

このたびの東日本大震災に より, お亡くなりになられ た方々のご冥福をお祈り申 し上げますとともに、被災 地の皆様に謹んでお見舞い 申し上げます。

一日も早い復旧復興を心よ りお祈り申し上げます。

「伝統」と「先端」の融合 知恵産業融合センタ

~知恵産業育成に好発進!!~

「知恵産業融合センター」の機能

●研究開発支援

案件の発掘 プロジェクトの創出 研究開発支援

●市場分析・情報提供

マーケットの調査・市場分析 市場が求める製品情報の提供

●人材育成

新事業創出に取り組む人材育成講座等を実施

◉情報発信マーケティング支援

産業技術研究所の技術シーズ等の情報発信
新製品の開発・販路開拓

- 京都府
- (財)京都高度技術研究所
- 京都工業会
- 京都商工会議所
- 京都リサーチパーク(株)
- 近畿経済産業局
- 地元金融機関

その他産業 支援機関等

研究開発支援

只都市では,産業技術研究所

内に京都の財産である伝統産業か

ら先端産業まで幅広い分野の技術

を融合させた, 新たな京都ブラン

ドを創出する「知恵産業融合セン

ター | を 2010 年 11 月に創設しま

した。事業では、研究開発・販路

開拓・人材育成を進めます。多様

な支援ニーズに対応するため,他

の産業支援機関と連携して,総合 的な開発支援を目指しています。

KYOTO 075

事業化・商品化の見込みが高いテーマを発掘し その研究開発を支援しています。

2010年度 2010 年度は、研究テーマ を研究所内で募集し, 所内で検討のうえ 4件のテーマを選定しました。知恵産業 の育成につながるよう, 開発した技術は 中小企業へ技術移転し、商品展開を支援 していきます。

また, 知恵産業の創出に向けて新しい 技術の発掘はもちろん, ニッチ市場の発 掘も重要です。そのために、異業種の企 業や大学を結び付け異業種間の連携を密 にし、新技術開発につなげていきます。

2011年度

研究所内から募集した研究テーマと, 企業を訪問する中で見えてきた研究課 題についても研究者を公募し、研究を 進める予定です。

都の染色技術を活かした

京都の伝統技術である染色技術を ファイバーに応用し, 新規色材の開発を行 いました。



先進技術を用い、これまで得られなかった 新しい釉薬の開発と試作を行いました。

「新感覚の京流 *器」製品開発



焼付で漆塗膜を強化した陶磁器胎漆器。釉 薬と漆の塗り分けで、各々の質感を活かした新感覚のデザイン。



西陣織の高度製織技術を応用してシームレ ス(縫目の無い)構造物を製織しました。

市場分析 · 情報提供

企業等が持つ開発技術の市場分析を行い, 市場が求める製品情報を企業に対して提供しています。



「日本酒と酒器がつくる日本文化」の海外販路展開

京都酒造工業研究会/京都陶磁器研究会との合同企画

日本酒の海外進出(活性化)に向けて取り組んでいる蔵元と, 京焼きの未来を憂い, 販路開拓を望んでいた陶磁器の職

人たちが、初顔合わせをしました。「京都の酒と器」を「京都の文化」として発信していくことを目指し、準備会を発足。第1話として、この準備会の様子を動画にて配信しています。2011年2月1日~14日には、米国ロサンゼルス他にての調査を実施。第2話はこの様子をアップします。お楽しみに!



人材育成

自社の優れた技術を、新たな製品開発や事業展開につなげるための発想や 事業設計手法を学ぶセミナー等を開催しています。

次世代を担うリーダーの育成

2010 年度は、テーマを絞り3回に渡って人材育成セミナーを開催しました。伝統産業とデザインの融合、企業のあり方、コンテンツ業界の今後についてなど、非常に充実した内容で、ご参加された方々からも大変好評をいただきました。

2011 年度はセミナーに加えて、新たにワークショップ等の人材育成プログラムを検討しています。ぜひご期待ください!









平成23年2月24日(木)於:京都工芸繊維大学

第2回「感性と経営」

平成23年3月16日(水)於:京都工芸繊維大学

第3回「新領域の開拓をめざして」

平成 23 年 3 月 30 日(水) 於:京都リサーチパーク

ジスタッフ紹介

新たに, 3人の研究スタッフが 加わりました!

動き始めています。京都らしい独特の 新たなブランドを創りましょう。

スターデ様が

2011 年4月より新体制に変わりました! スタッフ一同がんばります!

コーディネーターとして 皆様のお役に立てるよう がんばります!

と知恵の町ですが

京都はもともと知恵の町ですが、より深淵なる知恵を追求し、 今世紀のリード役を 果たしていきたいですね。

京都市産業技術研究所

知恵産業融合センター ちえのわ

http://tc-kyoto.or.jp/ WEB サイトもご覧ください

2011 APR. vol.1(平成 23 年 4 月発行) 発行/京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター 〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町 91 番地 TEL: 075-326-6220 FAX: 075-326-6200 京都市印刷物 第 234089 号